

## 大阪 IR カジノの資金計画

大阪市情報公開審査会で意見陳述するために、「大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画」2022年2月16日を再読している。あらためて大阪 IR カジノ資金計画について整理しておく。

[要求基準 11] 一体的かつ継続的な IR 事業の実施

IR 事業者は、金融機関との間で長期間の融資契約を締結することになっており、ファイナンス面において金融機関からの長期的なコミットメントを得られる見込みである。

大阪府・市は、長期間にわたる安定的で継続的な本事業の実施のために必要と認めた場合には、融資金融機関による IR 事業者の資産に対する担保権の設定及び融資金融機関の担保実行による株主の交代その他一定の事項について、IR 事業者に融資を行う金融機関又は融資団と協議を行い、当該金融機関又は融資団と直接協定を締結する。

[評価基準 21] 資金計画から

資金調達総額は約 1 兆 800 億円であり、株主による出資（自己資本）により約 5300 億円（約 49%）、金融機関からの借入により約 5500 億円（約 51%）を調達する想定。

資金調達の内訳は、中核株主である合同会社日本 MGM リゾーツ及びオリックス株式会社のほか、関西企業を中心とする中核株主以外の複数の少数株主による出資に加え、主幹事行となる三菱 UFJ 銀行、三井住友銀行その他シンジケーションに参加する複数の金融機関からのプロジェクトファイナンス（シニアローン）での借入により資金調達を行う予定。

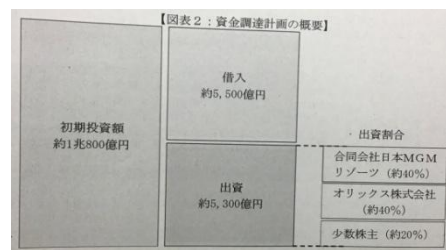
資金調達方法及び資金拠出の蓋然性

- a 日本 MGM リゾーツ及び MGM リゾーツ・インターナショナル
- b オリックス株式会社
- c 中核株主以外の少数株主
- d 金融機関

融資額約 5500 億円について、三菱 UFJ 銀行及び三井住友銀行からのコミットメントレターを取得している。

コミットメントレターを公開請求したが、全面非公開となり、審査請求している。

(2023年7月1日)



【図表 3：資金調達の内訳】

資金の内訳及び調達方法	種類	金額	調達割合	資金提供者	
自己資本	資本金	普通株式	約 2,120 億円	約 20%	合同会社日本MGMリゾーツ
			約 2,120 億円	約 20%	オリックス株式会社
			約 1,060 億円	約 10%	中核株主以外の少数株主全体
	自己資本合計	約 5,300 億円	約 49%		
他人資本	借入金	シニアローン	約 5,500 億円	約 51%	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関
	他人資本合計	約 5,500 億円	約 51%		
資金調達総額・割合		約 1 兆 800 億円	100%		
(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)		約 1 兆 800 億円	100%		